



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 9070 URL http://www.tonamiholdings.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)綿貫 勝介
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)輪達 光春 (TEL)0766(32)1073
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,847	△2.9	1,268	257.9	1,390	203.8	855	319.5
24年3月期第2四半期	58,565	0.4	354	△10.0	457	△21.3	204	319.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 586百万円(475.0%) 24年3月期第2四半期 102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	9	43	—	—
24年3月期第2四半期	2	25	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	114,357		46,448		40.3	
24年3月期	116,085		46,045		39.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 46,090百万円 24年3月期 45,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	2	00	2	00
25年3月期	—	—	2	00	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	2	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	120,200	2.1	2,000	42.6	2,300	42.2	1,020	61.4	11	24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	97,610,118株	24年3月期	97,610,118株
25年3月期2Q	6,851,085株	24年3月期	6,845,870株
25年3月期2Q	90,762,020株	24年3月期2Q	90,771,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) その他注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日、以下「当第2四半期」という。)におけるわが国の経済は、東日本大震災(以下「震災」という。)後の復興需要の動きに伴い緩やかながら回復傾向が見られるものの、欧州の債務危機や円高の長期化、国内の電力供給問題及び消費税増税や雇用・社会保障などの先行き不安もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましても、国内貨物輸送量は生産等の回復や前年度における大幅減の反動などを受けて前年より改善傾向が予想されるものの、国際貨物輸送は円高の影響や震災後の生産拠点の海外シフトの進行により輸出の伸び悩みが懸念されております。また、燃料価格の高止まりや価格競争の激化等により、引続き厳しい経営環境が続くと見られます。

このような中で、当社グループの当第2四半期の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の安定的収益確保、重点とする3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業をはじめとする関連事業の拡大につとめる一方で、収益内容の見直しを促進いたしました結果、営業収益は56,847百万円と、前年同四半期に比べ1,717百万円(2.9%)の減収となりました。

また、利益面におきましては、運賃・料金の見直しや燃料費の上昇懸念など収益性マイナス要因もありましたが、本年4月からスタートいたしました「中期経営3ヶ年計画」における「事業構造改革」を推進しました結果、営業利益は1,268百万円と前年同四半期に比べ913百万円(257.9%)の増益となりました。

経常利益は1,390百万円を計上し、前年同四半期に比べ932百万円(203.8%)の増益となりました。

四半期純利益は855百万円となり、前年同四半期に比べ651百万円(319.5%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①物流関連事業

当第2四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業における既存顧客の受託業務の拡大および新規顧客の開拓等につとめましたが、不採算取引の見直しや、輸出関連の物流需要の低迷もあり、営業収益は52,596百万円と前年同四半期に比べ1,059百万円(2.0%)の減収となりました。

セグメント利益は、燃料費の上昇懸念もありましたが、重点とする3PL事業の収益性改善、主力の貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の業務効率向上によるコスト低減などにより、979百万円を計上し、前年同四半期に比べ877百万円(863.6%)の増益となりました。

②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は1,104百万円となり、前年同四半期に比べ149百万円(11.9%)の減収となりました。セグメント利益は69百万円を計上し、前年同四半期に比べ56百万円(433.5%)の増益となりました。

③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は2,751百万円となり、前年同四半期に比べ437百万円(13.7%)の減収となりました。

セグメント利益は124百万円で、前年同四半期に比べ22百万円(15.4%)の減益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で営業収益395百万円を計上し、前年同四半期に比べ72百万円(15.4%)の減収となりました。

セグメント利益は58百万円で、前年同四半期に比べ1百万円(2.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は114,357百万円となり、前連結会計年度に比べ1,727百万円(1.5%)減少しました。これは主として流動資産で営業未収入金が622百万円、その他流動資産が562百万円減少したことなどによります。

負債は67,909百万円となり、前連結会計年度に比べ2,129百万円(3.0%)減少しました。これは主として流動負債で営業未払金が1,131百万円、固定負債で退職給付引当金が639百万円減少したことなどによります。

純資産は46,448百万円となり、前連結会計年度に比べ402百万円(0.9%)増加しました。これは主として四半期純利益を計上するなどして利益剰余金が758百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の39.4%から40.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し、8,385百万円となりました。これは営業キャッシュ・フローの増加と、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,407百万円の収入となりました(前年同四半期に比べて238百万円の減少)。これは主に減価償却費2,029百万円と売上債権の減少による収入が1,049百万円あった一方で、仕入債務の減少による支出が1,229百万円、退職給付引当金の減少による支出が639百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは823百万円の支出となりました(前年同四半期に比べて1,335百万円の支出減少)。これは主に有形固定資産の取得による支出が1,453百万円あった一方で、有形固定資産の売却による収入が573百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは789百万円の支出となりました(前年同四半期に比べて841百万円の支出減少)。これは主に短期借入金の増加が987百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が644百万円、リース債務の返済による支出が1,013百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、公共投資や個人消費が底堅く推移するものの、欧州債務危機の再燃、中国・新興国など海外経済の減速懸念、円高の長期化などによる輸出や生産活動の低下が憂慮され、依然として予断を許さない状況が継続するものと思われま

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間における業績は利益面において好調に推移しているものの、本年度後半の景気動向については円高の進行や国内景気の停滞感などにより、先行き不透明な状況が憂慮されています。

通期業績予想につきましては今後の業績動向を見極める必要もあり、平成24年5月11日に公表しました予想値を据え置き、見通しが明らかになり次第速やかに公表いたします。

当社グループは、「中期経営3ヶ年計画」の取組骨子の一つでもある「事業構造改革」の進展をはかるため、引続き物流サービス・品質の一層の向上による市場競争力向上、業務量に応じたコストコントロールの徹底による収益基盤の強化により、業容の拡大を推進してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,635	8,429
受取手形	3,636	3,209
営業未収入金	16,382	15,760
たな卸資産	605	964
繰延税金資産	510	459
その他	3,318	2,756
貸倒引当金	△45	△40
流動資産合計	33,044	31,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,340	20,866
機械装置及び運搬具（純額）	2,050	2,220
土地	41,303	40,980
その他（純額）	6,902	7,927
有形固定資産合計	71,597	71,994
無形固定資産		
のれん	95	43
その他	780	769
無形固定資産合計	875	813
投資その他の資産		
投資有価証券	5,630	5,301
破産更生債権等	115	138
繰延税金資産	298	205
その他	4,881	4,742
貸倒引当金	△357	△378
投資その他の資産合計	10,567	10,009
固定資産合計	83,040	82,818
資産合計	116,085	114,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	787	689
営業未払金	10,140	9,008
短期借入金	13,490	14,477
1年内返済予定の長期借入金	1,207	1,158
1年内償還予定の社債	—	3,000
未払法人税等	416	477
未払消費税等	204	372
賞与引当金	818	850
その他	7,157	6,627
流動負債合計	34,222	36,662
固定負債		
社債	3,000	—
長期借入金	7,452	6,921
再評価に係る繰延税金負債	4,741	4,695
退職給付引当金	14,079	13,439
役員退職慰勞引当金	154	119
負ののれん	229	191
その他	6,158	5,877
固定負債合計	35,817	31,246
負債合計	70,039	67,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	15,007	15,765
自己株式	△2,016	△2,017
株主資本合計	38,855	39,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	147
土地再評価差額金	6,413	6,329
その他の包括利益累計額合計	6,840	6,477
少数株主持分	349	357
純資産合計	46,045	46,448
負債純資産合計	116,085	114,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	58,565	56,847
営業原価	55,025	52,529
営業総利益	3,540	4,318
販売費及び一般管理費	3,185	3,050
営業利益	354	1,268
営業外収益		
受取利息	88	99
受取配当金	75	65
受取家賃	84	70
負ののれん償却額	38	38
持分法による投資利益	14	30
その他	118	119
営業外収益合計	420	424
営業外費用		
支払利息	255	237
その他	61	64
営業外費用合計	316	302
経常利益	457	1,390
特別利益		
固定資産売却益	189	227
移転補償金	56	—
受取保険金	—	56
その他	7	8
特別利益合計	253	291
特別損失		
固定資産売却損	13	5
投資有価証券評価損	12	10
固定資産除却損	31	15
災害による損失	27	43
その他	14	26
特別損失合計	99	101
税金等調整前四半期純利益	611	1,581
法人税、住民税及び事業税	333	411
過年度法人税等	—	112
法人税等調整額	94	190
法人税等合計	428	714
少数株主損益調整前四半期純利益	183	866
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△20	10
四半期純利益	204	855

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	183	866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△278
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	△81	△279
四半期包括利益	102	586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	576
少数株主に係る四半期包括利益	△20	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	611	1,581
減価償却費	1,842	2,029
有形固定資産除売却損益(△は益)	△144	△206
投資有価証券評価損益(△は益)	12	10
ゴルフ会員権評価損	3	0
のれん償却額	12	12
持分法による投資損益(△は益)	△14	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21	16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△244	△639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	32
受取利息及び受取配当金	△164	△165
支払利息	255	237
売上債権の増減額(△は増加)	1,296	1,049
たな卸資産の増減額(△は増加)	△288	△358
仕入債務の増減額(△は減少)	△757	△1,229
未払消費税等の増減額(△は減少)	△180	168
その他	△46	△570
小計	2,225	1,902
利息及び配当金の受取額	164	165
利息の支払額	△282	△275
法人税等の支払額	△460	△385
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,645	1,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△22
定期預金の払戻による収入	22	22
有形固定資産の取得による支出	△2,080	△1,453
有形固定資産の売却による収入	43	573
投資有価証券の取得による支出	△13	△37
投資有価証券の売却による収入	0	1
貸付けによる支出	△152	△118
貸付金の回収による収入	42	226
その他	0	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,158	△823

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	987
長期借入れによる収入	—	65
長期借入金の返済による支出	△719	△644
リース債務の返済による支出	△701	△1,013
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△181	△181
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,631	△789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,144	△206
現金及び現金同等物の期首残高	11,140	8,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,995	8,385

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	53,655	1,253	3,188	58,098	467	58,565	—	58,565
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12	128	2,788	2,929	344	3,274	△3,274	—
計	53,668	1,382	5,977	61,028	812	61,840	△3,274	58,565
セグメント利益	101	13	146	261	59	320	33	354

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額33百万円にはセグメント間消去358百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	52,596	1,104	2,751	56,452	395	56,847	—	56,847
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12	132	2,402	2,546	398	2,944	△2,944	—
計	52,608	1,236	5,153	58,999	793	59,792	△2,944	56,847
セグメント利益	979	69	124	1,173	58	1,231	37	1,268

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額37百万円にはセグメント間消去355百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△318百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他注記事項

事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	(53,655)	(91.7)	(52,596)	(92.5)	(△1,059)	(△2.0)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	40,867	69.8	40,320	70.9	△547	△1.3
倉庫事業	9,803	16.8	9,250	16.3	△553	△5.6
港湾運送事業	2,984	5.1	3,026	5.3	41	1.4
情報処理事業	(1,253)	(2.1)	(1,104)	(1.9)	(△149)	(△11.9)
販売事業	(3,188)	(5.4)	(2,751)	(4.9)	(△437)	(△13.7)
その他	(467)	(0.8)	(395)	(0.7)	(△72)	(△15.4)
合計	58,565	100.0	56,847	100.0	△1,717	△2.9

(注)その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業等の各収入を含めて表示しております。